



スーパー グローバル ハイスクール

佐高 SGH通信 2017

No. 30 (平成29年10月20日発行)

第4回佐野市中学生親善ディベート大会

「君のディベートをたべたい」チーム 優勝！



決勝戦で第二反駁をする西潟さん



表彰式

2017年10月8日(日)佐野日本大学短期大学において、一般社団法人佐野青年会議所主催による「第4回佐野市中学生親善ディベート大会」が、市内5校14チーム51名の参加により開催されました。本校からは7チーム28名が参加し、「**日本は捕鯨を禁止すべきである。是か非か。**」の論題で、予選リーグとその後の決勝トーナメントが繰り広げられました。

決勝戦は、前年度の覇者との白熱した試合でしたが、ジャッジの判定2:1で、「君のディベートをたべたい」チーム(表彰式左から、**尾花知典くん**、**村井謙斗くん**、**西潟ほのかさん**、**尾花佳典くん**)が優勝しました。**ベストディベーター賞**には、第二反駁で圧倒的な存在感があった**西潟ほのかさん**が輝きました。また、「大きく変化するこれからの社会で人類の新たな役割について考える中学生同志の会」チーム(小林杏珠さん 山本悠貴くん、田中新一郎くん、岡部豪太くん)が3位に入賞しました。

尾花知典くん

- ・この大会に参加するにあたり、今まで関心がなかった事を調べたり、話し合ったりすることで批判的思考を学ぶことができました。相手チームと何度も意見をぶつけ合い、自分とは異なる意見に触れることで、新しい発見や知識を伸ばすことにつながりました。

村井謙斗くん

- ・この優勝は、ともに戦った心強いチームの仲間、そして相手がいたからとれた優勝だと思います。来年もまたこの四人で出場し、史上初の二連覇を果たしたいと思います。

西潟ほのかさん

- ・今大会は、昨年度に続く二度目の出場でした。チームとして優勝、個人ではベストディベーター賞をいただき、大きな喜びを感じています。チームの三人にはたくさん助けてもらいました。この感激は言い表せません。また、対戦相手の方々とは、とても有意義なディベートをすることができました。本当にありがとうございました。

尾花佳典くん

- ・今回の優勝には、他の三人の存在がとても大きかったです。四人が協力して初めて為し得たことだと思います。ディベートは4つの役割があるのですが、自分以外の役割についても意見やアイデアを出し合うことができたことが、良かったと思います。

